

みどりの風

(URL) <http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/> (E-mail) k-iskwj@educet.plala.or.jp

「継」に託す思い

新しい年、2019年度。気持ちも新たに、3学期52日のスタートです。今、子どもたちの元気な声がこだまし、明るい笑顔であふれています。3学期の始業式では、次のような話をしました。

明けましておめでとうございます。2019年度がスタート、今年は「亥年」（十二支の12番目）。5・6年生の人の中に亥年のみんながいますが、自分の目標に向かって突っ走る、そんな飛躍の年にしてほしいと思います。

さて、「その年を『漢字一字』で表すと」とか、昨年やってみましたね。みんなはこの3学期のめあてを漢字一字で表すとしたら、どんな字にしますか。校長先生は、この字に決めました。「継」です。訓読みで「継ぐ（つぐ）」と読みます。意味は「後に渡すこと」「ほころびなどに他の布を当てて縫い繕うこと」。「継続は力なり」ということわざもあります。

正月のテレビで、「箱根駅伝」を観た人もいるでしょう。各大学の選手が10区間を10人で走って優勝を決めるレースです。1区間は約20km。駅伝では「襷（たすき）」を使います。あれも「継ぐ」ものです。リレーのバトンの代わりです。大学生は、1・2・3・4年生がいます。すると、入ったての1年生が4年生に、逆に卒業間近の4年生が3年生に襷を渡す…。校長先生はその時、「それぞれの学生達は、どんな思いを『継いで』いたのだろう」と思いながら、個々の走りを応援していました。



3学期は、私たちも「襷を渡す」（思いを継ぐ）時です。3月に卒業する6年生の皆さん。5年生や在校生に、石川小のどんな「良さ」（伝統）を伝えたいですか。一人一人は、自分のどんな姿を残していきたいですか。逆に、在校生のみんなは、6年生に何を伝えますか。どんな姿を6年生に見せますか。

次に、個人で考えてみましょう。次の学年に進級する自分に、今の自分の「良さ」や「夢（目標）」をしっかりと引き継いでほしいと思います。良く考える自分、友達と話し合える自分、家庭学習をやる自分、本をたくさん読む自分、人にやさしくできる自分、笑顔を絶やさない自分、自分から挨拶ができる自分、家で仕事をする自分、ルールを守る自分、悪いことやメディアの誘惑に負けない自分、何でも食べる自分、などです。それらを、4月の自分に是非「継いで」ください。引き継いだ力は、家族、友達、先生、地域のお世話になった方々にも見せる（伝える）ことで、より強固な（強い）ものになります。

6年生は今日を除いてあと51日で卒業（授業日）です。素晴らしい卒業式になるよう先生方も在校生のみんなも頑張ります。中学生の（将来の）自分にいい引き継ぎができるよう、学年仲良く、一日一日を大事に、精一杯過ごしてください。

今日はみんなの元気な顔に出会えてよかった。今年最初の話もしっかり聞いてくれて、ありがとう！

【保護者の皆様へ】

3学期は、今まで学んだり取り組んできたことをまとめ、引き継いでいく、子どもにとっても学校にとっても大事な時期です。個々の子どもの「心」「頭（学力）」「身体」「かわる力」の成長、6年生の卒業、各学年の進級が無事終わるように、最後まで全職員の力を結集し、「チーム石川」で取り組んでまいります。この3か月も、保護者・地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

*石川小学校のHPやブログも、是非ご覧ください。